

# 川崎から「まち」と「社会」の未来を考え、広げる2日間!

# COLORS, FUTURE! SUMMIT 2024

## KAWASAKI

2024年11月2[土]・3日[日]

会場:川崎市役所本庁舎2F ホール/UNI COFFEE ROASTERY 川崎市役所/ラゾーナ川崎プラザ ルーファ広場



新しい100年のはじめに、川崎を起点に「まち」と「社会」の未来を考え、広げていくプロジェクト「Colors,Future!Summit」は産官学の連携による、未来をつくる新しいアクションを構想するカンファレンスとそのアクションを実験・体験するフェスティバルを組み合わせたイベント。川崎のポテンシャルや魅力を掛け合わせ、生まれた新たなアイデアや出会いが川崎の次なる100年のまちづくりにつながることを目指した2日間のイベントには、全会場合計で約2万3千人が来場しました。

## カンファレンス

川崎にゆかりのある著名人や専門家、大学生など年齢もジャンルも多彩な総勢69名に登壇いただき、まちづくり、女性の働き方、フードロス、STEAM教育、LGBTQなどの社会的分野から、コーヒーや音楽といった趣味の分野にわたる14のテーマでトークセッションを展開。川崎のポテンシャルや魅力を知ってもらい、これからの川崎の未来について語り合いました。

川崎市役所本庁舎 2Fホール	UNI COFFEE ROASTERY 川崎市役所	ラゾーナ川崎プラザ ルーファ広場
<p>川崎だからこそできる、101年目からの「チャレンジが広がるまち」を探り、多様で多彩なまちの未来を構想しました。</p>	<p>カフェの柔らかな雰囲気の中で登壇者と来場者が近い距離で対話しながら、幅広い年齢層が参加できるセッションを展開しました。</p>	<p>普段の買い物で訪れる場所にカンファレンス会場を設け、オープンな空間で気軽に参加できるセッションを開催しました。</p>

## プレ開催! 「Colors,Future!Summit 2023」

前年の2023年にプレ開催した「Colors,Future!Summit 2023」では、市役所、昭和音楽大学、SUPERNOVA KAWASAKIの3会場を舞台に、全19セッションを展開しました。

### 登壇者からひと言!

**ホテル緑道 吉岡明治さん**

川崎の夜のにぎわいの可能性を、お話しさせていただきました。これをきっかけに登壇者同士でつながることができたので、さらなる取組に発展させていきたいです。

## フェスティバル

「おいしい」の未来」をコンセプトに「ちょっと先の未来ではスタンダードになっているかもしれない食」と題して総勢15ブースが集結!「スマートドリンク=スマドリ」ブースのほか、「ヴィーガン醤油ラーメン」や「昆虫食」など、普段はあまり味わえない食の多様性が体験できるフェスティバルを展開しました。

『“おいしい”の未来』  
食の多様性を体験!  
ラゾーナ川崎プラザ  
ルーファ広場にて

## 未完の音楽会

「今は“未完”だけど、もしかしたら次の文化になっているかもしれないアーティスト」と題した、「音楽のまち・かわさき」ならではのライブステージで会場を盛り上げました。

人を笑顔にするトランペッター 田尻大喜さん  
ヘッドパーカッションパーフォーマー BOZE STYLEさん  
洗足学園音楽大学学生による サックス8重奏

## 登壇者インタビュー 「青春の思い出の地『川崎』の未来を願って」

### 2年連続でカンファレンスのセッションに登壇した人気モデル・藤井サチさんに、Colors,Future!Summitについて振り返ってもらいました。

一出身は都内とのことですが、川崎市との接点はあったのですか。青春の思い出の地です。友だちとの待ち合わせ場所はいつも学校の沿線の新百合ヶ丘駅でした。プリクラを撮ったり、タピオカを食べながらおしゃべりしたり、楽しい思い出しかありません。一2024年はカフェの雰囲気を楽しみながらの開催となりましたが、どんな雰囲気でしたか。

プレ開催の「Colors,Future!Summit 2023」では、アートに造詣の深い登壇者とともに市民の方も交えアートについて対話しましたが、2024年は医師や元プロバスケ選手の方々と登壇し、女性のライフスタイルやフェムケアの未来について、女子学生限定セッションとして語り合いました。最近、SNSのダイレクトメールで「痩せるコツを教えてください」と聞かれることが多いのですが、過剰に追い込んでしまった自分自身の経験から、参加してくれた女子中高生にも「自分らしさを大切にしてほしい」とアドバイスしました。当日の会場ではメモを一生懸命取っている女の子の姿がとても印象に残っています。自分が学生だった時には、家族以外に大人の女性のリアルな話を聞く機会がなかったので、ちょっぴり羨ましいとも思いました。一最後に、これからの100年に向けて、川崎市へのメッセージをお願いします。

川崎市は他都市に比べて女性のサポート体制が充実していると感じるので、さらに成長していくと思います。また、「Colors,Future!Summit」への登壇を通じて、アートにも力を入れていることも分かりました。私は映画が大好きなんですけど、川崎の文化がこれまで以上に発展し、国際的に発信できる都市になることを願っています。今後も青春の思い出の地「川崎」に関わって、その魅力を皆さんにお伝えしていきたいです!

## コラボ商品も販売!

アサヒビールブースでは、川崎市内の音楽大学に通う学生とノンアルコールのオリジナルカクテルを開発し、お酒を飲む人も、飲まない人も、同じ場で一緒に楽しみました!

「UNI COFFEE ROASTERY 川崎市役所 (株式会社GRACE)」が中心となり、3つの新商品を開発!市制100周年をきっかけに誕生したコラボ新商品は、いずれもイベント当日に完売。掛け合わせで新しい価値を生み出す取組そのものを食べて感じていただきました。

### Colors,Future! Burger

卵を使わないマヨネーズやプラントベースのお肉などを使用した菜食主義者の方でも食べられる、グリル感あふれるハンバーガー。

### 住吉の久寿餅ドーナツ

もちもちとした食感が特徴の久寿餅と生ドーナツのコラボ!

株式会社GRACE 鎌田将平さん

Colors,Future!Summitをきっかけに、これまで交流のなかった企業とコラボすることができました。技術の掛け合わせや企業同士のつながりを今後も大切にしていきたいです!

### ハーガーカヌレくんのカヌレ

UNI COFFEE ROASTERYのカヌレにカンタさん自ら水色のチョコをコーティングし、イラストデコレーションを描いた一品。

動画クリエイター 「水溜りポンド」カンタさん

当日、自ら販売することができてよかったです!これからのいろいろな形で川崎に関わっていければと思います!

# 「フェス&カンファレンス 製作委員会」座談会

新しいアクションを構想するカンファレンスと  
フェスティバルから未来をつくる  
—未来の川崎がここからはじまる—



「Colors,Future!Summit 2024」を企画運営した「フェス&カンファレンス 製作委員会」は、それぞれの強みを持つバラエティあふれる6社と100周年 実行委員会で構成されるチームです。2回目の開催となった2024年は、「フェス ティバルチーム」「カンファレンスチーム」「広報チーム」「セールスチーム」の 4チームを編成し、100周年記念事業の核となる「Colors,Future!Summit 2024」の開催に全力を注ぎました。未来に向けて「あたらしい川崎」を生み 出すチャレンジに取り組んだ製作委員会のメンバーに話を伺いました。

—はじめに、須之部会長にこれまでの振り返りを  
お聞かせください。

**須之部さん**：2年間、真っさらなところから始めて、 初回、2回目と回を重ねる中で内容が充実したと 感じており、集客数も満足のいくものとなりました。 100周年の今回で終わりではなく、この先の継続 開催を目指して検討を進めています。今は、100 周年を終えての総括というより、ステップアップの ための振り返りだと思っています。製作委員会の メンバーが素晴らしく、それぞれのチームに役割 を安心して任せられたので、会長としての大変さ は、あまり感じませんでした。



須之部 為師さん 三浦宗文さん

—カンファレンスを創り上げるまでのプロセスや、  
やり遂げた実感をお聞かせください。

**三浦さん**：Colors,Future!Summitは、川崎市のブ ランドメッセージ「Colors,Future!いろいろって、 未来。」が意味する「多様性は可能性」を可視化・具 現化するまちづくりイベントです。「多様性」を成長 戦略の核に据え、イノベーションを生み出すには？ という問いから、産官学民連携の組織づくりと、イ ノベーションの要件である「アイデア」(0→1)と「実 装」(1→100)を大切にプロジェクトづくりの 場を構想し、取り組んできました。川崎だからチャ レンジしたい!というアントレプレナーが集う場を 意識して、2024年のテーマは「はじめるを、はじめ よう!」としました。また、新しくはじめることも重 要ですが、そのチャレンジがスケールし、社会の価 値観を変え、大きな投資機会を創出するまでの社

会実装が最も重要になります。将来像として、そう した一連の取組をリード・フォローできるイベント のあり方を模索していきたいです。



千原史也さん 長澤健さん

**千原さん**：NTT東日本チームは、カンファレンスの テーマ決めや撮影・映像配信などの技術的な部分 を担いました。テーマ決めでは、未来に向けて川崎 市が必要としているものは何かをとにかく考えて、 案は20くらいあげましたが、ほとんどがボツになり ました(笑)。また、テーマのねらいを実現するための 登壇者選定や、伝えたいメッセージについても繰り 返し練りました。担当セッションのテーマは、結果と して「子育て支援」となり、弊社としても子育て世 代の活躍に重きを置いており、その辺りのメッセー ジも含めて伝えられたことは良かったです。

**長澤さん**：私は、3会場からYouTubeへの映像配 信やカンファレンス動画のアーカイブ化を担当し ました。会場に来られない方にイベントの盛り上が りをいかに伝えられるかと視聴者に飽きさせない アングルにはこだわりました。川崎市のような大都 市の100周年事業のアーカイブ映像制作に携わる ことは大きなやりがい、社員のモチベーションも 高かったですね。

**塩沢さん**：カンファレンステーマは、来場者が楽し めて、そして川崎の魅力も伝えられるよう、いろい ろな角度から考えました。共創で取り組んだこの プロジェクトでは、それぞれの立場を考えた調整 が本当に難しかったです。プロジェクトをきっか けとした出会いとつながりは、非常に価値あるもの

でした。これまで、どうしても行政視点になりがち でしたが、民間企業のメンバーはビジネス視点で 考えており、とても勉強になりました。「共創」して ひとつの事業を創ることができたのは、それぞれの メンバーが果たした役割を掛け合わせた成果だ と思っています。

—片岡副会長からも、「Colors,Future!Summit 2024」の感想をお聞かせください。

**片岡さん**：事業成功の指標には、集客と黒字化の 達成の2つの観点がありますが、今回は両方とも 達成できたと考えています。イベントの認知度を 上げていくには、年数を積み重ねることも重要な 要素なので、2023年から始まったこのイベントで 一定の来場者数と収支を達成するのはとてもハー ドでした。広報面では「Colors,Future!Summit 2024」だけではなく、「みんなの川崎祭」「川崎夜 市」「かわむすのおんがえし」という同時開催イベ ントを「秋の4大イベント 川崎愛 遊びつくす 3日 間」として一体的に見せていく広報を企画しました。 この一体的な広報は「Colors,Future!Summit 2024」が代表して担い、各イベントと連絡調整し ながらタブロイド紙などを作り上げました。色々と 大変なこともありましたが、4イベントの連携で ターゲット層が幅広になり、波及効果をより高め ることができました。



塩沢楓さん 片岡慎之輔さん

—タブロイド紙づくりには大変苦労されたそうで  
すが、いかがでしたか。

**矢ヶ崎さん**：同時開催した4つのイベントは、それ ぞれ規模が大きく、かつ、かなり特徴的なイベン トで主催者の思いも強く、それをタブロイド紙にど うまとめていくかという点は苦労しました。また、原 稿の締切が迫る中での4イベント分の進捗管理にも 骨が折れました。

**荻本さん**：4イベントを表現するキャッチコピーを 考えるだけでも関係者全員に案を出してもらい決 定するまで1カ月以上かけて議論しました。それぞ れの主催者の思いを汲み取り、ひとつにまとめて 発信していく作業の難易度は相当高かったです。

また、キービジュアルは未来を感じられるデザイン となるよう、イラストレーターの選考にもこだわ りました。このタブロイド紙には全ページ、テキストの 1文字までこだわり抜いた思いが詰まっています。



矢ヶ崎翔子さん 荻本直輝さん

—協賛(スポンサー)セールスの手応えをお聞かせ  
ください。

**佐藤さん**：2023年の開催から協賛いただいていた 企業に引き続き協賛していただけたのが大き かったですね。また、今回からJTBとTopKnock、 フロンティアダイレクトの3社がタッグを組み、そ れぞれのアセットを活用したセールスも効果的で した。

**小林さん**：市内には、すでに100周年記念事業に 協賛している企業が多かったので、市外企業にも お声かけしました。「Colors,Future!Summit 2024」の思いが多くの方に伝わり、市外企業から も協賛を得られたことは大きかったですし、川崎 市の100周年を広く市外に認知してもらうこと にもつながったと思います。ラゾーナで開催したフェ スティバル会場にはたくさんの方が来場し、協賛 価値に大変満足したとの声も協賛企業からいただ けました。

—「食」をテーマにしたフェスティバルの成果を  
お聞かせください。

**野尻さん**：テーマが決まるまでは相当苦労しまし たが、テーマが「食」に決まってからは、あらゆること が一気に動き出しました。コンセプトを「未来を感 じさせる食」としていたため、ヴィーガンや大豆ミ-

ト、宇宙食といった少し先の未来の食を扱う企業 をピックアップし、声かけしました。その中で、卵を 使わないマヨネーズを扱う事業者、プラントベース のお肉を扱う事業者、カフェ事業者の3社を掛け合 わせて未来を感じるハンバーガーを開発すること ができました。100周年記念事業は「共創」がテー マですので、これを実現できた意義は大きかったと 思います。また、2つの音楽大学が川崎にある特性 を活かして「音楽」と「飲み物」を掛け合わせたカク テルメニューを考案したのも楽しかったですね。

—秀逸な会場設営・会場運営だったとお聞きしました。

**大河原さん**：各チームが企画制作したコンテンツ を、当日の会場で実体化するのが私たち会場設営 部隊です。夏過ぎからようやくイベントの全体像が 見えてきて、ものごとが動き出してきました。2024 年は、できることはすべてやりつくしたという満足 感があります。イベント当日、雨が降り続く屋外会 場でも、綿密なシミュレーションに基づいて実施を 判断し、多くの方に用意してきたコンテンツを提供 できたことは本当によかったです。他イベントとの 当日の運営上の連携は、次回開催では、より一層 効果的なものにしていきたいと思っています。



佐藤達郎さん 小林英人さん

—最後に、川崎市の荻本さん、副会長の片岡さん、  
会長の須之部さんから一言ずつお願いします。

**荻本さん**：業種も得意な分野も多種多様なメン バーが強い思いを持って集まりながら、チームのた めにできることに精一杯取り組んできました。どん なことでも自分事として、一緒に考えてくれたこと

が大きかったです。例えば「こんなことができれば いいね、やりたいね」という発想を投げかけたとき に、全員が「どうしたらできる?」「やってみましょ う!」と言ってくれるメンバーでした。市だけではで きないことも、プロが集まったこの良いチームだけ から実現できたと思います。



野尻浩之さん 大河原正行さん

**片岡さん**：製作委員会に、年齢も職業も住んでい るところもバラバラな人たちが集まり、そこで一つ のものを創る「共創」の形ができました。これだけ の企業、人数が集まるとうまく噛み合わないケース も多いですが、力を生かせる場をつくり、それぞれ が決まった枠の中で自由に動ける力を研ぎ澄ませ、 みんなの力がうまく掛け合わさったのだと思いま す。この「共創」の形を100周年以降も、継続・発展 させていくことが、川崎のよりよい未来につながっ ていくのだと思います。これから川崎がどう発展し ていくのかがとても楽しみです。

**須之部さん**：アクションを構想するカンファレンス イベントが世の中に少ない中で、100周年の川崎 から未来に向けた発信をしたことはとても強い メッセージになると思います。カンファレンスを 軸に、川崎から日本に留まらず、世界に向けた発信 ができるのではないかと感じます。川崎のまちな ま、こうしたイベントをキーにいろいろなアクショ ンを連動させる流れになっていけば、すごく面白い のではないでしょうか。製作委員会の運営に関し ては、主体性あるメンバーたちにほとんどを任せま した。とにかくメンバーの動きやすさを一番に考 えることに力を入れ、皆さんには持てる力を出し切っ てもらえたと思っています。

## 座談会参加者

- 株式会社ホリプロ:**  
須之部 為師さん(製作委員会会長)、  
大河原 正行さん
- 株式会社TopKnock:**  
片岡 慎之輔さん(製作委員会副会長)
- 東日本電信電話株式会社 神奈川事業部 (NTT東日本):**  
千原 史也さん、長澤 健さん
- 株式会社EVERY DAY IS THE DAY:**  
三浦 宗文さん
- 株式会社フロンティアダイレクト:**  
小林 英人さん、矢ヶ崎 翔子さん
- 株式会社JTB 川崎支店:**  
佐藤 達郎さん
- 川崎市市制100周年記念事業・  
全国都市緑化かわさきフェア  
実行委員会(川崎市):**  
荻本 直輝さん、塩沢 楓さん、  
野尻 浩之さん







溝口駅前キラリデッキに音楽やダンスなどを「見て・感じて・楽しめる」憩いのスペースを創出

# ここから未来プロジェクト

日時:2024年11月9日[土] 会場:溝口駅前キラリデッキステージ



市制100周年を迎えた2024年11月、溝口駅前キラリデッキに音楽やダンスなどを「見て・感じて・楽しめる」地域の憩いのスペースとなる「キラリデッキステージ」が完成。元JUDY AND MARY(バンドグループ)の五十嵐公太さんの発案で立ち上がった「ここから未来プロジェクト推進協議会準備会」が、本ステージやイベントの企画運営を担い、11月9日(土)には、市制100周年とステージの完成を祝うこけら落としイベントを開催しました。



ここから未来プロジェクト公式HP



完成したステージは木の温もりが感じられる木製のステージ。音楽ライブなどのイベントを開催するほか、普段の日は、ダンス・音楽の練習、文化芸術の発信、座ってひなたぼっこができる憩いの場など、利用のしかたは多種多様。地元の方々に親しまれる、新たな溝口のランドマークとなることを目指しています。

11月9日のこけら落としイベントでは、五十嵐さん、高橋高津区長、青木川崎市議会議長、大島高津全町内会連合会会長によるテープカットに続き、キッズダンスチームや洗足学園音楽大学の学生による音楽ステージなど、地元ゆかりのある14組の出演者がオープニングを飾りました。出演者の皆さんからは「開放的なステージで歌ったり、踊ったりできて気持ち良かった」、「たくさんの方に見てもらえて楽しかった」などの声をいただきました。



ステージでは

さまざまなイベントが開催されています!



市制100周年の記念すべき節目に設置したキラリデッキステージは、多くの方の協力があって完成した「みんなのステージ」です。プロアマチュアも関係なく、多くの方に楽しいやドキドキをこのステージで体験して欲しいと思っています。溝口駅前キラリデッキから始まる新しいチャレンジ。皆さんと一緒にこのステージが「まちへの誇りや愛着」のランドマークになるよう取り組んでいきます。応援よろしくお願いします!

ここから未来プロジェクト推進協議会準備会  
会長 宮野知成(左) 副会長 水越大輔(右)



誰もが音楽やダンスを表現できる温かみのある木製ステージ



一人一人が環境に良いアクションを起こす文化や新しいライフスタイルの形成を目指して

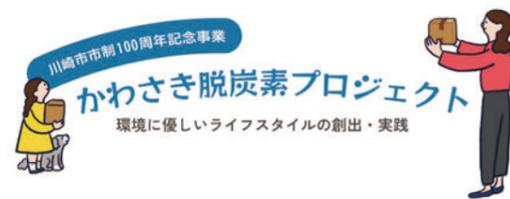
# かわさき脱炭素プロジェクト

期間:2024年6月17日~8月31日

内容:宅配便ロッカー(PUDO)のラッピング、川崎ゆかりの特典が当たるキャンペーン、効果の見える化(ダッシュボード)など  
実施主体:ヤマト運輸、PackcityJapan、富士通、川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会

「かわさき脱炭素プロジェクト」は、一人一人が自発的に環境に良いアクションを起こす文化や新しいライフスタイルの形成を目指し、100周年を機に立ち上がったプロジェクトです。

その先行的取組として、“自分らしく環境に良い宅配受け取りのライフスタイル”の普及・行動変容に向けた、オープン型宅配便ロッカー(PUDO)の利用促進により、宅配再配達を減らし、CO<sub>2</sub>排出量の削減を目指す取組を実施しました。



市内7区 15カ所に配置!

主要駅構内、商業施設、区役所、ヤマト運輸営業所などの宅配便ロッカーに、再配達による地球環境問題や物流問題を楽しく知ることができるラッピングを行い、宅配便ロッカーをアピールしました。



市民が市内の宅配便ロッカーでヤマト運輸の荷物を受け取ると、川崎ゆかりの特典に応募することができるキャンペーンを行い、宅配便ロッカーの利用を促進しました。



データ収集と分析をするダッシュボードの機能を使い、ロッカーの使用に応じてWEBサイト上の地図にアイコンやCO<sub>2</sub>の削減量がグラフで表示されるなど、結果が直感的に見える仕組みを作ることによって利用者のモチベーションの向上を図りました。

川崎市は脱炭素戦略(かわさきカーボンゼロチャレンジ2050)のもと、「脱炭素アクションみぞのくち」や「川崎市脱炭素ライフスタイル行動変容促進プロジェクト」など、さまざまなCO<sub>2</sub>削減の取組に挑戦しています。これからも、市民や事業者の皆さまと環境について一緒に考え、行動しながら、環境に良いアクションを行うことをより身近に感じられる事業を実施し、サステナブルな川崎市を創造していきたいと考えています。



かわさき脱炭素プロジェクト ワークショップに参加したメンバー